

30 原機（峠）097

平成30年9月27日

鳥取県三朝町長 松浦弘幸 殿

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
理事長 児玉敏雄

人形峠環境技術センターで行うウラン廃棄物の処理・処分に係る研究について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当機構の業務に関しましては、日頃より御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年8月18日に、当機構人形峠環境技術センターにおいて低レベル放射性廃棄物の事実上の最終処分が行われる見通しとの報道がなされたことについて、当機構の考えにつきまして下記のとおりお知らせいたします。

敬具

記

標記の研究については、これまで関係各所に説明させていただいたとおり、ウラン廃棄物工学研究の一環として実施を計画しているものであり、ウラン廃棄物の最終処分を行うものではありません。なお、本研究の試験に使用するウラン廃棄物は、同センターから発生したもののみとし、他所から持ち込むことはありません。

また、当機構としては、地域の皆様の御理解を得つつ研究開発活動を進めることとしており、今後、鳥取県殿及び三朝町殿と環境保全協定を締結するため協議させていただきたいと考えております。

以上